

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

*ブラッシャー天体写真儀による天体写真乾板について—その5(乾板の箱)—

アーカイブ室新聞第482号～第485号に「ブラッシャー天体写真儀による天体写真乾板について—その1—、その2、その3、その4」とブラッシャー天体写真儀による天体写真乾板について書いてきた。それらの総数は4418枚に及んだ。

このブラッシャー天体写真儀の写真乾板の整理を手掛けたのは中村士氏である。しかし、戦前のブラッシャー天体写真儀による写真乾板、観測原簿、乾板原簿などは1945年2月8日未明の旧本館の火災により全て焼失しており、中村氏が整理されたものは、残った1943年以降のものである。1963年にはブラッシャー天体写真儀は、後継機である日本光学製の50cmシュミットカメラが導入されたのでその使命を終えた。

現在、ブラッシャー天体写真儀の天体写真乾板は整理され国立天文台南棟(総合情報棟)3階の乾板保管室に格納されているが、中村氏が整理に乗り出さなかったらこの世から失せてしまった事情があったようだ。ある時、65cm望遠鏡ドームの階段などに生木の仮の棚に置かれていた古い天体写真乾板を東京天文台の整理好きのI博士がどんどん捨て始めたので、中村氏はブラッシャー天体写真儀による掃天観測の乾板を捨てられてはかなわないと、当時の南研1階の天体搜索部の写真暗室にラックを買って整理し、そのさいリスト作りを行ったのが1990年頃のことであった。中村氏はI博士に10年間、苦勞して観測した制約データを無断で捨てられた苦い記憶があるという。

そして、中村氏は天体写真乾板も大切であるが、国産の乾板が入っていた紙箱も重要だと保管されていた。国産の天体写真乾板にもいろいろあり、天体観測用の特殊製品であり、おそらく乾板製作会社にも残っていないであろう歴史的に貴重なものだと記されている。中村氏は、乾板や器械等の器物史料は説明文書と常に一緒に管理することが最も重要であるが、これが一番実行の難しい点であるとも書かれている。以下、中村氏が残された乾板の箱を紹介しよう。写真1は手札版の乾板箱2点である。



写真1 手札版の乾板箱

写真1の乾板は「ORIENTAL PHOTO INDUSTRIAL CO. LTD」製で、左の箱の表には、彗星 19481 と書かれ、Plate 番号が B1556、1559、1562、1571、1582、1587、1589、1590、1591、1594、1595、1614、1617 の 13 枚の乾板が入っていたことが記されており、右の箱には 1956 年 1 月 8 日の購入年月日と 74” 6 枚という文字が読めるから、岡山天体物理観測所の 74 吋望遠鏡で撮られた写真が入っていたのであろうか。

写真2、3、4は、キャビネ版の乾板の箱である。



写真2



写真3



写真4

写真2の上の箱には、B1995、97-99、2036-37、40-42の8枚の番号、下の箱にはB1501-12の12枚の番号の乾板が入っていたことが記されており、写真3の上の箱には、B1489-1500の12枚、下の箱にはB1937-41、43、44、50、53、59、61、67、73、79、80、81(16Platten)と16枚のPlateが入っていたことが記されている。写真4にはB1378-83、85-91、1395、中味良品在中とある。この箱の乾板は東洋写真工業株式会社製である。

写真5、6、7は六つ切り版の乾板の箱である

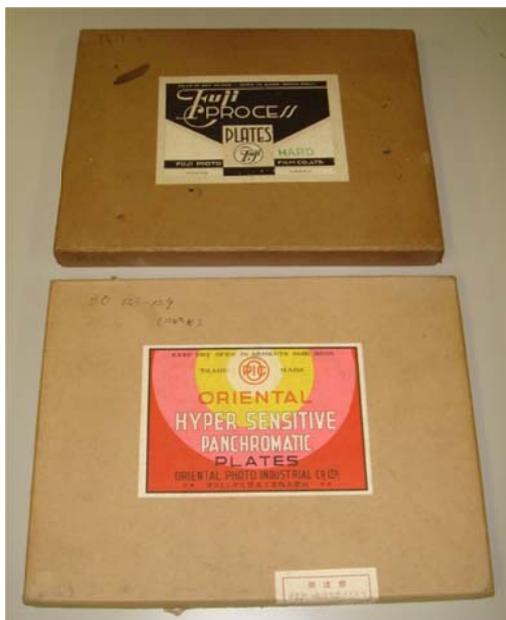


写真5

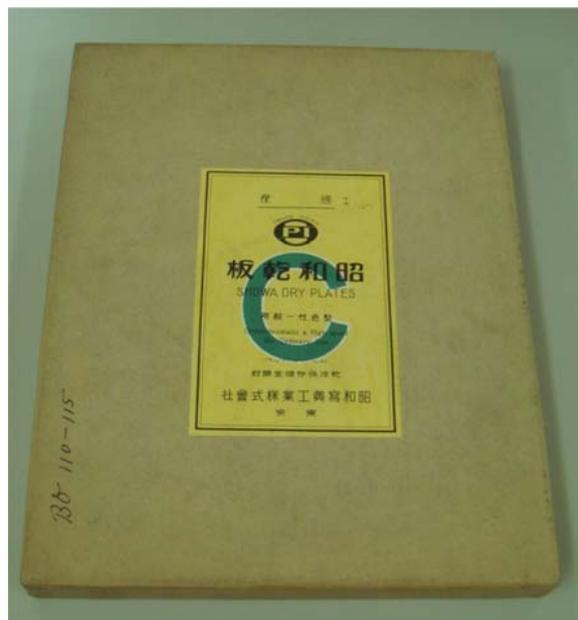


写真6

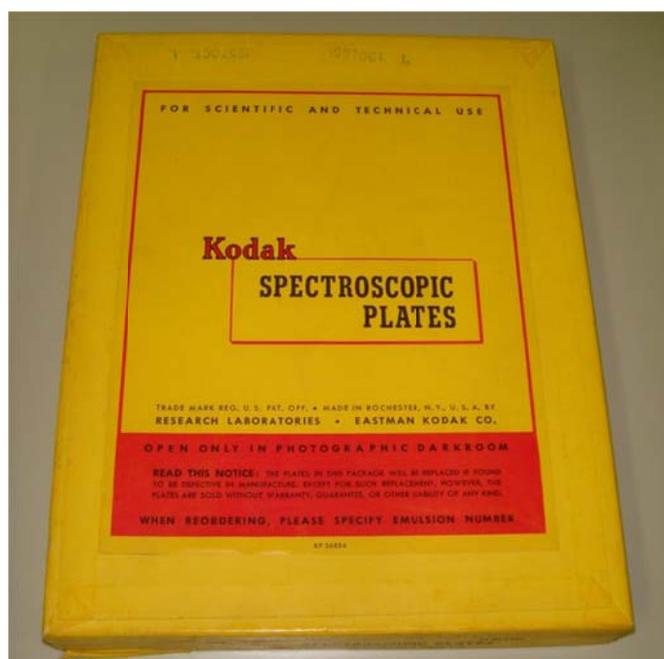


写真7

写真5の上の箱には、K 1 2 と書かれているから2枚の乾板だったようだ。下の箱には B0123-129(124 欠)と6枚の乾板が入っていたと書かれている。写真6には B0110-115 と6枚の乾板が入っていたことが記されている。写真7はKodakのSPECTROSCOPIC PLATES用の乾板の箱である。これ等が中村氏が歴史的に貴重と保存しておいてくれた写真乾板の箱である。既にこの世の中から写真乾板を製造する会社は無くなっている。ここに現れた会社は、ORIENTAL PHOTO INDUSTRIAL CO. LTD、FUJI PHOTO FILM CO. LTD、東洋写真工業株式

会社、昭和写真工業株式会社、Kodak の各社である。東洋写真工業株式会社の箱には「オリエンタル」と入っているが ORIENTAL PHOTO INDUSTRIAL CO. LTD とは別の会社であろう。東洋写真工業株式会社の箱には超高感度オリエンタル ソフト 1200 人像乾板と書かれているのも面白い。写真 8 がこれ等すべての箱を撮ったものである。



写真 8 保管されていた乾板箱の勢ぞろい

これ等の乾板の箱も貴重な歴史の証人であろう。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp